

12月論語学習

令和7年12月1日（月）

伊里中学校では12月の第1週が『校内論語ウィーク』です。本日、立花先生から、次の章句を学びました。

「子曰く、歳（とし）寒（さむ）くして、
然（しか）る後（のち）に松柏（しょうはく）の
彫（しぼ）むに後（おく）るることを知る也（なり）」

『先生が言われた、寒さの厳しい冬になって、
はじめて松や真柏が
緑の葉を枯らさない凄さがわかる。』

人も同じで苦しいとき・辛いときを迎えたときに、はじめて人の真価がわかるものです。厳寒の季節の松や真柏のように、人間も少々の苦難や逆境にあってもそれに負けず、揺るがない信念をもった堂々とした生き方をしてみたいものです。 文責：教頭・早川政宏

